

みなとタウンフォーラム
第1グループ【街づくり分野】

提 言 書

平成29年3月22日

みなとタウンフォーラム第1グループ

メンバ ー 安藤 平 伊藤 博史 伊吹 仁宏
今井 鉄 刈米 洋子 高草 英郎
角田 朋巳 野田 一夫 野村 知義
藤田 真紀

他 3名

※メンバーは五十音順、氏名は同意の方のみ掲載

1 提言にあたって

私たち第1グループは、街づくり分野について、「水辺」、「景観」、「快適な街づくり」の3つのテーマに分け、全7回にわたり、グループ会議で議論をしてきました。

私たちは、前回のみなとタウンフォーラムで提言が出されて以降、区が、街づくり分野の様々な施策に取り組み、水辺の散歩道の整備を積極的に進めていること、歴史的建造物を核とした景観形成・保全の推進に取り組んでいること等を確認しました。

一方、諸外国に比べ運河周辺の魅力が足りないこと、街路樹など住民に身近なところでの景観形成が進んでいないこと、歴史を生かした街づくりを一層推進する必要があること等々、住民目線での様々な課題を共有しました。

港区基本計画の計画期間最終年度には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。私たちが暮らす港区でも、台場でトライアスロンや水泳のマラソン競技が行われます。こうした中、区内では、新駅の工事が進む品川駅周辺をはじめ、環状二号線の沿道など大規模な開発が進められており、そのような開発に住民の意見を反映させていくことが大きな課題となっています。

港区は、運河などの水辺空間やまとまった緑地、坂の多い起伏に富んだ地形に恵まれ、さらには、歴史の積み重ねを感じさせる寺社や仏閣、多くの大使館が立地する豊かな国際色、首都を象徴する近代建築物や洒落た街並みが共存する、他の都市にはない多様な魅力を持つ街です。

私たちは、東京2020大会に向けて、住民が誇り、誰もが何度も訪れたい魅力ある街づくりを推進してほしい、との思いで、住民目線で意見を交わしてきました。

そして、これまでの議論をメインテーマと3つの柱にまとめ、第1グループの提言とすることにしました。

第1に、「運河沿い・水辺のにぎわい創出」として、東京2020大会に向けて運河沿いには季節感あふれるフラワーバスケットを設置し、運河や水辺を訪れる誰もが、うるおいと安らぎを感じることができる水辺空間づくりに取り組むことを提案します。

第2に、「港区ならではの景観を生かした街づくり」として、歴史や地形など港区ならではの街並みを生かした街づくりを充実させるとともに、季節感あふれる魅力ある街づくりを運河沿いだけでなく、港区全体にも広げていくことを提案します。

第3に、「安全で快適な街づくり」として、安全で快適な自転車利用と歩行者の安全を両立させるとともに、誰もが気軽に掛けるような交通手段を充実させ、誰もが安心して暮らせる心地よい街を実現していくことを提案します。

提言のメインテーマ

住民が誇り、誰もが何度も訪れたい魅力的な街づくりを推進する

提言（１） 運河沿い・水辺のにぎわい創出

【提言の方向性】

- 水辺の散歩道に自然と人が集まるような、港区ならではの魅力を創出する。
- 運河沿いへのアクセスを改善するとともに、運河周辺の魅力を発信する。
- 港区の特徴である水辺の水質を改善し、誰もが親しめる環境を整備する。

提言（２） 港区ならではの景観を生かした街づくり

【提言の方向性】

- 港区のイメージを形成する街並みを生かした街づくりを推進する。
- 港区の通りを四季折々の花で彩り、魅力のある街並みを形成する。
- 景観を阻害する看板等の屋外広告物に対する指導を強化する。
- 魅力ある景観の情報発信を強化し、誰もが分かりやすく、気持ちよく歩ける環境づくりを進める。

提言（３） 安全で快適な街づくり

【提言の方向性】

- 歩行者と自転車利用者が、ともに安全で快適な街づくりを進める。
- 利用実態や区民ニーズに合わせた「ちいばす」の運行改善を進め、更なる利便性の向上を図る。
- 住民に身近な地域の街並みが守られ、誰もが安心して暮らせる心地よい街づくりを進める。

2 提言内容

(1) 運河沿い・水辺のにぎわい創出

① 思わず散歩したくなる水辺の散歩道を創る

施策への提言

水辺の散歩道に自然と人が集まるような、港区ならではの魅力を創出する。

提言理由

運河周辺は、人口増加が著しく、オフィスなども多く立地しているなど、潜在的なポテンシャルの高い地域である。

また、港区の貴重な地域資源である運河沿いでは、護岸や運河沿緑地の整備が進み、区民や来街者が運河に親しむ水辺空間が形成されつつある。

しかしながら、運河周辺の景観は諸外国に比べ魅力に欠けており、運河沿緑地を歩く人の数は少ない。

運河沿緑地に自然と人が集まるような、魅力的な水辺空間へと取組をレベルアップさせる必要がある。

具体的な事業提言

- ・ 運河緑地帯に桜や椿などシンボルとなる木を植える、フラワーバスケットを設置する等、季節感ある面的なイメージを形成する。
- ・ 子どもから高齢者まで誰もが水辺の散歩道を楽しめるような、運動器具や遊具、ベンチ等を設置する。
- ・ 運河に沿って並べられたガス灯のように、運河空間を生かした魅力的な夜景を創出する。
- ・ 運河沿いに立地する民間建築物の計画に際しては、運河空間の賑わい創出に寄与する計画となるよう誘導する。

② 運河沿いへの周遊性の向上

施策への提言

運河沿いへのアクセスを改善するとともに、運河周辺の魅力を発信する。

提言理由

港区には、歴史的な建造物等が多く残されており、運河の街である芝浦地域には旧協働会館や、台場地域には第三、第六台場などがある。

また、マンションなどの開発に合わせて、運河への出入り口が新しく作られるなど、親水性のある環境になりつつある。

港区が取り組んでいる自転車シェアリングは、区民や来街者が手軽に利用出来る交通手段であり、先駆的な取組である。また、「ちいばす」は、乗車していると新たな発見がある。

こうした区が取組と、運河や歴史的建造物などの港区が持つ地域資源とをつなげることで、街の魅力をさらに高めることができる。

具体的な事業提言

- ・運河周辺の自転車シェアリングポートや駐輪場を充実させ、区民や来街者が気軽に運河沿いまでアクセスできる環境整備を進める。
- ・「ちいばす」や自転車シェアリングを利用した、運河とその周辺にある歴史的建造物の周遊ルートを開発し、区民や来街者に広くPRする。

③ 潤いあふれる水辺環境（河川・堀）の推進

施策への提言

水辺の水質を改善し、誰もが親しめる環境を整備する。

提言理由

江戸城外堀や汐留川など区内の水辺の中には、ヘドロが溜まっているところも多く、水のおいや見た目の改善を行う必要がある。

こうした河川や運河、堀等は、震災による同時多発火災や大規模市街地火災が発生した際には、貴重な水源としても活用されるものであり、浄化対策に一層力を入れて取り組む必要がある。

具体的な事業提言

- ・ 区内の河川や堀等のヘドロを綺麗にし、透明度やにおいの改善を図る。

(2) 港区ならではの景観を生かした街づくり

① 緑や歴史、地形を生かした街づくり

施策への提言

港区のイメージを形成する街並みを生かした街づくりを推進する。

提言理由

再開発の高層マンションが景観街づくり賞を受賞するなど、良好な景観形成に寄与している。その一方で、少し入り込んだところは景観が良くなるとは言えない場所もある。

外出した帰りに東京タワーを見ると、「港区に帰って来た」と安心出来る風景であったが、大きな建物が立ち並び、見える場所も減ってきている。

具体的な事業提言

- ・ 広く区民に親しまれ、街のイメージを形成する特徴的な路地裏や既存の街並みを景観重要建造物等として指定するなど、特徴的な景観を生かしたまちづくりを誘導する。
- ・ 東京タワーなど、街のシンボルとなる既存の景観を遺した開発となるように誘導する。

② フラワーランド計画の推進

施策への提言

港区の通りを四季折々の花で彩り、魅力のある街並みを形成する。

提言理由

東京 2020 大会の開催に伴い、港区では、外国人を含めますます人の往来が増えることが予想される。

港区を訪れた人が、「港区に来て良かった、また来たい」と思えるように、フラワーランド計画を一層推進し、印象に残る街並みを 2020 年に向けて早期に実現すべきである。

また、植栽なども大規模になると、住民だけでは整備や維持が難しいことから、区と住民が協力して整備等を行う必要がある。

具体的な事業提言

- ・常緑樹で花や実が生る樹木を街路樹に採用する。
- ・地域や通りごとに花や樹木の種類にテーマ性を持たせ、面としての華やぐイメージを創出する。
- ・東京 2020 大会開催時期の暑さに強く、夏に綺麗な花を咲かせるものを選び、競技会場周辺などに集中的にフラワーバスケットを設置する。
- ・区が花壇や植栽等を整備し、住民がメンテナンス作業をするなど、区と住民が役割分担をし、連携して維持管理等を行う仕組みをさらに充実させる。

③ いまある街をより良く見せる

施策への提言

景観を阻害する看板等の屋外広告物に対する指導を強化する。

提言理由

ヨーロッパの看板は凝ったものが多く、長く残せそうなものばかりで、街並みの一部として景観を形成している。

しかし、日本では宣伝のために文字が大きく、色彩も統一感が無いため、看板等の屋外広告物が景観を阻害している。街の魅力を高めていくために、景観という視点から対策を徹底していく必要がある。

また、夜になると繁華街を中心として路上には置き看板が立ち並び、景観を阻害するだけでなく、通行の支障となっている。

具体的な事業提言

- ・屋外広告物の色彩、文字、規模や位置等が周囲の景観と融和し、統一感ある街並みとなるよう、区と地域が一体となって効果的な誘導策を講じる。
- ・置き看板など違法な広告物に対し、除却も含めて、指導を強化する。

④ 魅力ある景観の発信

施策への提言

魅力ある景観の情報発信を強化し、誰もが分かりやすく、気持ちよく歩ける環境づくりを進める。

提言理由

港区には、赤坂氷川神社など歴史的な建物が多く立地しているが、訪れたいと思っても道順がわからないことも多い。

港区の水辺周辺に位置する最大級のランドマークであり、東京 2020 大会の競技会場への導線にもなるレインボーブリッジは、経路表示や橋を歩いて渡れる時間帯、自転車は押して渡る等の説明表示がなく、改善が必要である。

区内には、坂ごとに木の案内板が設置されており、良好な景観の一つとなっている。しかしながら、街中にある由来板などの看板には、大きさや色彩などの統一感がない。

具体的な事業提言

- ・港区らしい景観や歴史を伝える看板のデザインを統一する。
- ・街歩きの資料の内容を小学校で説明する、「ちいばす」を活用するなど、港区の魅力ある景観の周知を強化する。
- ・外国人が多く居住している港区の特徴を踏まえ、看板の多言語標記を推進する。

(3) 安全で快適な街づくり

① 自転車利用者のルールの徹底とマナーの向上

施策への提言

歩行者と自転車利用者が、ともに安全で快適な街づくりを進める。

提言理由

電動アシスト自転車の普及に伴い、坂をスピードを出して走行する自転車が増加しており、大変危険である。

区も自転車走行空間の整備を進めているが、十分な道路幅員が確保できる場所に限られており、住民が日常的に利用するような狭い道路では対策が進んでいない。

また、自転車専用通行帯が整備された道路では、路上駐車により自転車が安全に走行できない状況も散見される。

ハード面の整備だけでは、安全な道路空間の形成は難しいため、自転車利用者のマナー向上が必要である。

具体的な事業提言

- ・立体に見える路面標示を整備するなど、自転車のスピードを抑制する対策を講じる。
- ・自転車の危険性をきちんと認識してもらうため、自転車利用時のルールやマナーに関して、集中的なキャンペーンを実施するなど周知を図るとともに、事故が起きてしまった時への備えとして自転車保険への加入を区民に呼びかける。
- ・自転車利用者にルールとマナーが浸透するような、インセンティブを付与する仕組みを構築する。

② 「ちいばす」の更なる利便性向上

施策への提言

利用実態や区民ニーズに合わせた「ちいばす」の運行改善を進め、更なる利便性の向上を図る。

提言理由

港区は、地下鉄や自転車シェアリングなど様々な交通手段があり、交通網が発達しているが、その中でもバスは高齢者にとって利用しやすい公共交通である。

今後、高齢者の増加に伴い、バス利用者の増加が見込まれるため、運行経路ごとに、利用者層や混雑状況を考慮した運行本数の見直しが必要である。

循環ルート（麻布西ルート、麻布東ルート、赤坂ルート）の路線については、往路と復路が異なるルートとなるため、一方が遠回りとなり不便である。

また、定時性を確保するため運行距離が 10km 程度となっているが、目的の施設まで乗り継ぎが必要となるなど不便な一面もあり、利用者のニーズを勘案した運行経路の見直しが必要である。

具体的な事業提言

- ・利用者数の多い時間帯については、運行間隔を 20 分間隔から 15 分間隔に短縮するなど、利用実態に合ったダイヤに改正する。
- ・利用実態を踏まえた上で、循環ルートの運行経路を改善する。
- ・区民のニーズも踏まえた上で、「ちいばす」を乗り継ぎせずに区内の公共施設等の目的地まで行くことができるバスを運行する。

③ 安心して暮らせる心地よい街づくり

施策への提言

住民に身近な地域の街並みが守られ、誰もが安心して暮らせる心地よい街づくりを進める。

提言理由

景観協議の届出には該当しない、古い街並みや住宅街、商店街などの身近な景観を構成する小規模建築物についても、良好な景観形成へとつなげていく仕組みづくりが必要である。

マンション敷地内でのファーマーズマーケット開催など、地域のコミュニティによる街の雰囲気づくりの活動を活性化させていく必要がある。

具体的な事業提言

- ・地域の意見が活かされる街づくりを進める。
- ・地域のコミュニティによる街の雰囲気づくりの活動をサポートする制度を導入する。

(開催経過)

	開催日時	内容
第1回	平成28年9月1日(木) 18:30~20:40	・事務局紹介 ・各分野の現状と課題について ・グループ会議の運営・検討テーマについて
第2回	平成28年10月6日(木) 18:30~20:30	・検討テーマについて
第3回	平成28年11月10日(木) 18:30~20:45	・「水辺」について ・今後のグループ会議の検討テーマについて
第4回	平成28年11月24日(木) 18:30~20:00	・「景観」について
第5回	平成28年12月1日(木) 18:30~20:30	・「景観」、「快適な街づくり」について
第6回	平成29年1月12日(木) 18:30~20:30	・提言に向けた取りまとめについて ・「ちいばす」について
第7回	平成29年2月2日(木) 18:30~20:45	・提言書(案)について